

—妻木晩田遺跡 国史跡指定20周年記念—

20 むきばんだ 年のあゆみ



妻木晩田遺跡は、弥生時代中期から古墳時代前期（約2000～1700年前）に営まれた集落跡です。遺跡の広がりには約170ヘクタールに及び、弥生時代の遺跡としては全国最大級の規模を誇ります。妻木晩田遺跡は発掘調査と史跡の整備を行いながら平成を駆け抜け、令和の時代に入り、遺跡を訪れてくださる多くの皆様に支えられながら国史跡指定20周年を迎えました。

遺跡の保存と国史跡指定

平成4年に策定された「大山スイス村リゾート計画」によって、「晩田山」と呼ばれる丘陵にゴルフ場の建設計画が立ち上がりました。この計画に基づき、平成7年度から15万5000㎡に及び記録保存を目的とした全面発掘調査が行われることになりました。

当初は、尾根に点在する「洞ノ原」「妻木山」「妻木新山」「仙谷」「松尾頭」「松尾城」の6つの遺跡の調査という認識でしたが、調査が進むにつれてそれらは全体が結びついた大規模な集落跡であることが判明し、「妻木晩田遺跡群」と呼ばれるようになりました。洞ノ原遺跡（現在の洞ノ原地区）からは大小11基の四隅突出型墳丘墓群が発見され、遺跡全体で検出された竪穴住居跡・掘立柱建物跡が900棟以上にのぼるなど、その重要性が知られるようになると、地元をはじめ全国の市民、研究者から遺跡保存の要望書や署名が寄せられて保存運動が展開されました。遺跡とリゾート開発の共存を目指した協議は、平成10年度の発掘調査終了後も開発事業者との間で粘り強く続けられ、最終的に平成11年4月にゴルフ場開発の中止と遺跡の全面保存が決定しました。

全面保存決定後、遺跡は県が管理していくことになり、平成11年8月に「妻木晩田遺跡」として文化庁に国史跡指定の申請を行い、同年12月22日に国史跡に指定されました。

史跡指定後の発掘調査

国史跡指定後は、開発によって失われる遺跡の記録保存が目的であった第1次調査（ゴルフ場開発に伴う発掘調査）とは異なり、妻木晩田遺跡の集落像を解明するために学術目的の発掘調査を継続して行っています。

平成12・13年度は、「形成期の集落像の解明」を目的として、洞ノ原地区西側丘陵で環壕の未調査部分や新たに検出した竪穴住居跡を調査しました。平成14～16年度は、「最盛期の集落像の解明」を目的として、妻木山地区で竪穴住居跡や掘立柱建物跡の発掘調査を進め、最盛期（2世紀後半）を迎えたムラの姿を明らかにすることができました。これらの調査研究成果は、現在史跡公園内で見ることができる弥生のムラの復元に大きく活かされています。

平成17～21年度には、最盛期における有力者の居住域と考えられる松尾頭地区で発掘調査を行いました。大型の竪穴住居跡以外にも、ムラの始まりから終焉（弥生時代中期から古墳時代前期）にかけての遺構が多数見つかり、松尾頭地区は長期間にわたってムラの中心的な場所だったことが分かりました。平成22～27年度には、仙谷地区で遺跡内最大の四隅突出型墳丘墓である仙谷1号墓、そして新発見となった仙谷8号墓・9号墓の発掘調査を行いました。集落が終焉を迎える古墳時代前期に築かれた仙谷8号墓は、仙谷1号墓と並ぶ大型の方形墳丘墓で、埋葬施設として安山岩の巨礫を蓋石に用いた石棺が見つかり大きな話題となりました。平成28年度には初めて谷部で発掘調査を行い、弥生時代後期の板状木製品が出土しました。

平成29・30年度は、松尾頭地区で松尾頭3～5号墓の発掘調査を行い、集落縮小期（2世紀末～3世紀初め）の墳丘墓の状況を明らかにしました。松尾頭3～5号墓も仙谷8・9号墓と同じく新発見の墳丘墓です。史跡指定後に進めている発掘調査によって、妻木晩田遺跡の全体像解明に向けた成果が着実に積み重ねられています。今後の調査研究の進展にも、ご期待ください。



洞ノ原地区環壕、竪穴住居



妻木山地区竪穴住居群



仙谷8号墓石棺



松尾頭3号墓

史跡指定後の整備と活用

妻木晩田遺跡は、遺跡公開への強い要望に応えるために、史跡指定後すぐに平成12年度から平成15年度にかけて洞ノ原地区の整備を行いました（初期整備）。その間に史跡の将来的な整備活用計画を策定し、妻木山地区、妻木新山地区、仙谷地区の整備とガイダンス施設の建設を進め、平成24年4月に第1期整備のグランドオープンを迎えました。

平成12年度から開始した史跡整備も約20年が経過しました。弥生時代の植生復元を目指して整備した「むきばんだの森」は大きく育ち、復元された竪穴住居や高床倉庫は周囲の自然と調和して、弥生時代の妻木晩田ムラの姿を私たちに伝えてくれます。豊かな自然に囲まれた弥生時代の大規模集落は、2000年の時を経て、再び多くの人でにぎわう魅力ある場所として甦よみがえりました。これからも、弥生時代の歴史や文化を学び、さまざまな楽しさを体感、追求できる史跡を目指していきます。



建設中の妻木山地区弥生のムラ（2010年）



妻木山地区弥生のムラ（2019年）



妻木新山地区木の実の森（2010年、植樹風景）



妻木新山地区木の実の森（2019年）



新緑まつり
(2004年)



秋麗まつり（2002年）



GWは、
むきばんだ日和
(2019年)



むきばんだまつり（2015年）

妻木晩田遺跡関連年表

年	月	できごと
1992	平成4年 1月	「大山スイス村リゾート計画」策定
1993	平成5年 9月	仙谷遺跡（現在の仙谷地区）で四隅突出型墳丘墓を確認
1994	平成6年 12月	「晩田山の自然を守る会」発足
1995	平成7年 3月	妻木山遺跡等の6遺跡（現在は地区）の発掘調査開始
	11月	松元遺跡で此付の大型掘立柱建物跡（第41建物跡）を検出
1996	平成8年 4月	松元遺跡で墳丘墓2基（松元1号墓・2号墓）を検出
1997	平成9年 1月	洞ノ原遺跡（現洞ノ原地区）で四隅突出型墳丘墓群を検出 文化財保存全国協議会が現地視察、淀江町・大山町へ遺跡保存要請
	6月	日本考古学協会等が鳥取県等に保存要望書提出、「晩田山の遺跡を守る会」発足（署名活動開始）
	12月	妻木山遺跡等の6遺跡を「妻木晩田遺跡群」と呼称、調査を総括する現地説明会を開催（約500名参加） 「自然と遺跡と人間を考える会」「晩田山の遺跡保存連絡会」発足
1998	平成10年 2月	文化庁が県教委に遺跡の保存について検討を要望
	3月	全地区の発掘調査を完了。衆議院予算委員会で妻木晩田遺跡群が取り上げられる。日本考古学協会が遺跡の全面保存と開発の見直しを決議。県文化財保護審議会が遺跡の全面保存を県教委に要望。
	6月	「海と山の王国シンポジウム～妻木晩田遺跡をどう生かすか～」開催
1999	平成11年 2月	「むきばんだ応援団」発足
	4月	ゴルフ場開発中止、遺跡全面保存決定
	8月	「妻木晩田遺跡」として国史跡指定申請。 「むきばんだ遺跡全国フォーラム」開催（米子・東京・大阪・鳥取で順次開催）
	12月	「史跡妻木晩田遺跡」として国史跡指定（22日）
2000	平成12年 4月	遺跡の一般公開を再開、仮展示室完成
	6月	再開以降の見学者が1万人突破
	7月	県立博物館「むきばんだ一弥生の王国」開催
	11月	第1回秋麗まつり（拠点施設オープンイベント）
2001	平成13年 12月	国史跡指定1周年記念シンポジウム「倭国大いに乱れる」開催
	2月	「妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会」発足
	5月	第1回「新緑まつり」（復元火まつり食まつり）開催、「妻木晩田遺跡整備活用基本構想」策定
2002	平成14年 8月	妻木晩田遺跡シンボルマーク決定
2002	平成14年 12月	入場10万人達成
2003	平成15年 10月	「国史跡妻木晩田遺跡整備活用基本計画」策定
2004	平成16年 8月	「妻木晩田遺跡活用実行委員会」設立
	9月	「むきばんだ土器づくりの会」設立
2005	平成17年 10月	入場20万人達成、「むきばんだを歩く会」設立
2006	平成18年 4月	「むきばんだジュニアファンクラブ」開始
2007	平成19年 4月	「お気楽♪弥生気分」開始（土日祝日等の古代体験）
2008	平成20年 3月	妻木山地区の一部を国史跡に追加指定
	11月	入場30万人達成
2009	平成21年 3月	「弥生の森植樹祭」実施
	5月	「むきばんだカゴづくりサークル」設立
2010	平成22年 4月	「むきばんだ史跡公園」に名称変更、ガイダンス施設「弥生の館むきばんだ」開催 「第56回鳥取県植樹祭」開催
2011	平成23年 4月	妻木山地区の復元集落完成公開
	11月	入場40万人達成
2012	平成24年 4月	グランドオープン（第1期整備として仙谷・妻木新山地区を含む史跡北半部を全面公開）
	8月	「なりきり弥生人生活」開始
2013	平成25年 5月	「GWは、むきばんだ日和」開始
	9月	「むきばんだまつり」開始（新緑・秋麗まつりを統合）
2014	平成26年 3月	入場者50万人達成
2015	平成27年 4月	「弥生のもづくり講座」開始（「考古学講座」から名称変更）
2016	平成28年 1月	国史跡指定15周年記念シンポジウム「激動の3世紀を生きる～弥生時代の終焉と妻木晩田遺跡～」開催
2017	平成29年 3月	第1回とっとり弥生の王国シンポジウム「倭人の食卓」開催
	9月	「むきばんだ女子考古部」1期生活動開始
	11月	入場者60万人達成
2018	平成30年 2月	第2回とっとり弥生の王国シンポジウム「倭人のデザイン」開催
	5月	「むきばんだ遺跡土曜講座」開始
	8月	「星取ウィーク」開始
2019	令和元年（平成31年）10月	国史跡指定20周年イベント「秋のミニフェスティバル・ライトアップ☆むきばんだ」開催
	12月	国史跡指定20周年イベント「冬の古代体験～特別な日曜日～」開催 国史跡指定20周年（22日）

鳥取県立むきばんだ史跡公園のご案内

〒689-3324 鳥取県西伯郡大山町妻木1115-4
 電話：0859-37-4000 ファクシミリ：0859-37-4001
 E-mail：mukibanda@pref.tottori.lg.jp
 HP：https://www.pref.tottori.lg.jp/mukibanda
 facebook：https://www.facebook.com/Mukibanda

開園時間：9:00～17:00（入園は16:30まで）
 休園日：毎月第4月曜日（その日が祝日の場合は、その直後の休日でない日）
 年末年始（12月29日～1月3日）

